

口蹄疫発生に関する対応について

(社)日本農業法人協会

今回は、口蹄疫に関する当協会の対応状況について報告いたします。

1. 当協会の対応

現在のところ、次の事項について政策当局へ要請するとともに、会員への支援を予定しております。つきましては、更なる支援策について会員の皆様からのご意見・ご提案を事務局へお寄せください。

(1) 農水省等への支援要請事項

- ・ 消毒薬の容器の規制を緩和。
- ・ 補償額を明確化し、発症時に報告できる体制を整備。
- ・ 防除対策補償、雇用対策補償
- ・ 経営再建までの補償制度の整備。
- ・ 埋葬地の確保、迅速な殺処分実施。
- ・ 金融債務及び一般債務の条件緩和、延納
- ・ 再建時の融資制度発足
- ・ 風評被害防止対策
- ・ 各種マニュアル(発生防止、初動対応、国家支援体制等)の整備、周知、現場への普及。

(2) 会員への支援

- ・ 未発生地域における注意喚起。
- ・ 指針・マニュアルの周知徹底。
- ・ 賛助会員及びASC会員等との連携(資材斡旋等)。

(3) 今後の対応予定

- ・ 宮崎県内畜産(牛・豚)会員の会費延納。
- ・ 募金活動の開始。

2. 事務局の対応状況

4月27日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宮崎県事務局及び鹿児島県事務局へ発生状況等につき確認、情報共有を依頼。 ・ 松岡会長他打合せ
4月28日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国の豚・牛を飼養する259会員の抽出 ・ 会員の状況把握及び農水省等に対する要望の基礎資料とするアンケートの検討。 ・ 農水省経営政策課打合せ ・ 松岡会長他打合せ
5月6日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 松岡会長他打合せ

5月7日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農水省経営政策課とアンケート調査の実施等を打合せ
5月11日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート調査の実施
5月13日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 松岡会長打合せ ・ 農水省畜産企画課長及び畜水産安全管理課に現状報告と協力要請について打診。
5月17日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農水省畜産企画課長及び畜水産安全管理課に対し、紺野専務及び北村政策課長によるアンケート結果の中間報告と支援策についての申入れ。
5月18日(火) ～ 19日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第4回政策・経営委員会における口蹄疫に関する状況報告及び対策協議。 ・ (社)宮崎県農業法人経営者協会新福会長より県内の窮状説明、協会としての支援策討議。
5月27日(木) (以下予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伊藤副会長、紺野専務による農水省への状況報告及び支援要請。(日時調整中)
5月28日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員選出役員会及び都道府県会長会議による対策協議。

●.....●
○(社)宮崎県農業経営者協会HPによる情報発信「届け！農業経営者の生の声」

●.....●
今後も被害の拡大が懸念されていますので、防疫や家畜の健康観察を徹底してください。

また、農林水産省「[口蹄疫に関する特定家畜伝染病防疫指針](#)」を再度確認し、必要な対策を講じてください。

●.....●
本紙に関するお問合せは下記までご連絡ください。

アグリビジネス経営塾 号外

2010年5月19日発行

発行：社団法人日本農業法人協会



HP：<http://www.hojin.or.jp>

TEL:03-6268-9500

FAX:03-3237-6811

e-mail：juku@hojin.or.jp

©(社)日本農業法人協会2010

本紙記事の無断転載を禁止します。

口蹄疫に関する会員アンケート結果、中間報告（第 3 報） (41 先回収 / 259 先配布 全国)

1. 口蹄疫発生を受けて行った自社の対策

1.消毒関係

消毒のマニュアル見直しと徹底、農場内消毒、公共施設入退場車両の消毒徹底。作業員全員シャワー後に場内専用服使用、畜舎ごとに長靴、手袋を使い分けた、発生農場を回避して出勤、細霧 24 時間消毒実施、入場者全車消毒、出入口での防除体制の充実、消毒槽設置、運転手着替え、靴消毒。

2.行動関係

情報対策、会議毎日開催、感染地区に立ち入らない、スピードプレイヤーによる隔日での消毒、外出控える、防鳥ネット、家畜保健所の指導を受けた、消毒槽の設置、入場者制限、牛の導入禁止、畜産関係者との接触禁止、出来高体重を規格内の最低体重にしている、家畜の健康観察徹底。

2. 口蹄疫発生による自社への影響

消毒剤等防除備品購入(1000 万円以上)、九州の牛市場の閉鎖、食肉販売等のイベント中止、子牛を順調に導入できない。出荷停止、殺処分、消費意欲の減退、飼料代増加、飼料代支払い不可、上海の子会社に輸出予定だったソフトクリームミックスの輸出がストップ、九州の子牛市場がストップ、防除。従業員解雇 20 名決定、再起の目処が立たない。仮払いで良いので迅速な対応お願いしたい。

3. 今後予測される懸念事項

過剰なマスコミ報道による風評被害、九州から北海道までの輸送便も多く、全国感染拡大が懸念、自社農場への感染、今後 2~3 年の経営断念、収入ゼロ、生活費確保、従業員 8 名失業、畜産団地内での感染率高い、資金回転不可、アイスクリーム販売を海外の現地法人で行っているが、輸出禁止で原料が調達できず、現地法人の存続不可、子牛市場の高騰、豚肉消費減となる風評被害感染拡大、移動制限、種豚導入先の減少、他県での発生、飼料調達、家畜出荷に外部車両の出入りがあるため感染拡大、再建時に初妊牛素牛が高騰。

4. 懸念される事項への対応策

行政からの依頼及び対応によるマスコミ対策、業界及び国策による各種要請活動、都道府県で通常の L、W、D の接種種豚の確保、宮崎発生場所での一般車両を含めた全車両の消毒徹底、防除、保険加入、複合経営の場合、野菜も出荷できず、倒産もあり得ること考えると職員 260 人の転職先斡旋を行う必要、耕種農家の中国産麦わら使用による感染か、消毒し感染防止を図る、情報収集。殺処分による豚及び施設(乾燥舎含め)再建費をどう評価するのか。休業補償は 100%あるのか。宮崎以外からの導入により飼育管理方法を変更する必要がある。

5. ご意見

子牛、子豚市場での売買による蔓延。市場の状況把握及び休場措置も必要。中国、韓国からの輸入便(飛行機、船)の消毒の徹底。専門協会の対応状況が不明。資金見通しが不明。防除等に関する施設、着替え等の購入費用が増大。口蹄疫確認 10 日で手付かず、待機。死亡豚対策が急がれる。国及び行政には、終息宣言が出せるように努力されたし。九州に応援する。感染経路の特定、予防策の提示、メーカーへの消毒薬等の増産指示、消毒薬の特別価格設定、消毒薬の海外からの緊急輸入、ソフトクリーム原料は加熱殺菌冷凍である。輸出許可願いたい。救済措置の速やかな実行、原因を公開願う。宮崎県への人員配置、消毒の徹底、広域的になる気配あり、畜産破滅防止のため総力戦で抑えたい。風評被害への対応を急ぐ、何の罪のない畜産農家の子供が不登校となるなど人間不信が起きている、畜産農家の家族は日常の買い物等にも行けず地域社会が崩壊、1 日も早く国と県も対応して、早く全国の農家を安心させて下さい。1 日も早く終息することをお祈りします、一般車両の消毒もお願いしたい、国及び県の対応の遅さに閉口します。被害のある農家への助成と口蹄疫洗浄国に戻ることを期待します。農協、役所等からの迅速な情報提供をお願いしたい。国がこの様な状況では日本農業は壊滅状態になる、国に危機感が無い。問題発生に対し迅速な対応が必要。消毒だけで為す術はないのか。1 日も早い終息宣言を、今回のことを十分に検証し、二度と発生しないようにして下さい。全国の全畜産農場に啓発することが必要、口蹄疫発生時のマニュアルの浸透、対岸の火事では無い。